

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 中山 謙二郎

発行所 川口市消防本部総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

中山消防団長 「埼玉県消防協会会長」 就任

川口市消防団長 中山 謙二郎

以前は県協会長には県知事が兼任されていましたが、種種不都合な点が多く、消防団長という機運が高まっていました。上田清司氏当選を期に協会副会長の中から互選で会長推薦するという規約を定め、最初の会長に佐藤眞一氏さいたま市団長が就任しました。未だ創生期の会長に去る、平成 18 年 4 月 1 日付で微力な私が会長の重い荷を背負う事になりました。財源乏しい協会では大きな改革は望めず、小さな改革、改善を志し、防災関係、並び 各界より依頼がある場合 成可く出席をし地域性、風土を肌で感じ今後の活動に生かす様にと心底で考えています。近隣の都・県と肩を並之でできる協会を築こうと頑張ります。



「日本消防協会会長改選」

徳田 正明会長が去る平成 18 年 5 月末勇退いたしました。

協会には 28 年間奉職、その間会長職 11 年努め、団員の福祉共済面、日消ホールの改築等
尽瘁した御仁であります。

新会長には片山 虎之助氏

プロフィール

岡山県・昭和 10 年生まれ

岡山県副知事・消防庁次長

参議院議員、総務、郵政各大臣歴

川口市消防団新役員紹介

4 月 1 日付け新しく役員になられた方を紹介します。

副団長 矢作 稔

この度、川口市消防団副団長に就任いたしました。私にとって副団長の職務は身にあまる大役でありますが、中山消防団長の指導の下で役職を全うしたいと思います。大地震発生が現実感をもつ昨今、市民の生命、財産を守るため、防災活動に消防団員として使命感を持って、気持ちを新たに任務に精励して参ります。団員皆さんの一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副団長 川上 孝

この度、平成 18 年 4 月 1 日をもって、川口市消防団副団長に就任致しました。もとより、浅学非才の身ではありますが、気分を新たに、市民の安全の為、微力ではありますが、全力で、この重責を全ういたしたいと存じております。

今後も皆様の一層のご指導、ご鞭撻を頂くと共に、格別のご厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。



第4支団長 大久保 俊三

この度、消防団第四支団長に就任しました大久保と申します。大変、不慣れな者ですが、前矢作支団長同様に先輩諸氏が築かれた伝統ある消防団組織と地域に根ざした信頼される支団運営に努めて参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



第5支団長 木内 賢治

去る3月、埼玉県消防学校における、中級幹部研修会に自ら参加してまいりました。目的は「消防団幹部として必要な知識及び技能を修得する事」の意義を感じ、無事に修了する事が出来ました。

平成18年4月3日に、川口市消防本部の会議室において、支団長辞令交付を受ける事が出来ました。身の引き締まる思いで受け取り、又これから先の責任の重さを感じました。

私は兼ねてから感じておりましたが、消防団員は市民全体の信頼を基盤として、地域住民の安全を確保する事が大事かと思えます。それには、地域一体となった防災活動が必要かと思えます。町会活動の一環として、地域防災にお役になりたいと思えます。



第6支団長 磯貝 輝男

この度、第6支団、支団長に就任いたしました。私達の新郷地区も日々刻々と変化しており、気付かない間に新しい道路や、住宅が林立する変化の目覚しい地域です。そのような地域での活動に、大変な難しさを感じております。

私にとっては、大変な大役ではありますが、団員をはじめ地域の諸先輩方のご協力ご指導をいただき職務を推進してまいりたいと考えております。



第7支団長 矢作 好之

この度、川口市消防団第7支団長に就任しました。昨今、火災はもとより国内外で大きな災害が多発をしております。その報道を見るにつけ、地域に根ざした消防団の活動が重要視されてきているのではないのでしょうか。

私達団員一同、力を合わせ活動してまいりたいと思えます。地域の皆様方の深いご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。



第9支団長 石塚 登喜雄

「川口市消防団第9支団長を命ずる。」辞令書を手に自分の消防団活動に、今まで以上に責任を重く感じている。

消防の任務は、国民の生命、身体及び財産を火災から保護する。

自らの地域は自ら守ると言う精神で地域の安全確保の為に果たす役割には極めて、大きなものがある。今後第9支団の為、川口消防団の為消防活動に努力していく、所存です。



「平成18年度荒川左岸水害予防組合水防演習をふりかえって」

副団長 金子 利夫

6月3日(土)曇天、そして寒いくらいの涼しい気候の中、荒川左岸水害予防組合の水防演習が多勢の職、団員、そして地域の自主防災隊の参加を頂き、演習が行われ、多種多様な水防工法が披露されました。団員の工法についても、土手の上から見ていても、大変きびきびと節度を持って活動していて、大変感動いたしました。更に、各隊員の熱心な訓練と行動には心から頭が下がる思いがしました。

ただひとつ残念だったのは、消防ポンプ車のサイレン停止が、注意をしていたにもかかわらず、統一されなかった事です。今後、あらゆる活動において、各隊指揮者は確実な行動が取れる様に、更なる精進をして頂ければ大変ありがたいものです。今後とも、事故のない様に訓練に励んで頂いて、市民の皆さんの安全、安心の為、尚一層がんばって活動をして戴きたいと思います。



支団紹介

『第9支団』

第9支団第3分団長 飯島富士夫

第9支団は、川口の北東部に位置し戸塚地区を担当する支団です。

戸塚地区は、近年、急激な発展を遂げ、そして今現在も発展を続けています。武蔵野線の東川口駅又埼玉高速鉄道の戸塚安行駅と2つの駅を持ち、人口も57,000人以上と大きな地区になっています。その中災害も様々です、住宅火災はもちろんですが、山林火災や荒地の枯れ草火災等、大雨による一時的な水害。また去年は行方不明者が出て団員全員で捜索した事も有りました。

第9支団は、第1分団、第2分団、第3分団と3つの分団で活動しています。どちらの支団も、悩んでおられていると思いますが9支団においても、人口は多くなったのですが入団希望者が少なくて苦慮しています。その中で今の団員43名は、非常に協力性が有り支団長を中心に一致団結して活動しています。今後も地域の防災に対して、全団員で活動して参りたいと、思います。

『第8支団』

第8支団 支団長 松本 清

第8支団は、第1分団、第2分団と2つの分団で安行地区所帯数 11,000 戸を担当し出活動しています。

今後の目標としては、埼玉県無火災表彰を基本として行動してまいる所存でございます。なお、埼玉県表彰規程無火災表彰（第2条）10,000 戸以上、無火災期 1 年、15,000 戸以上、6 ヶ月となっております。

近年複雑多様化、かつ、高齢化社会の進展に伴い私達消防団の使命であり、この任務を遂行するため常日頃から訓練に励み団員相互の和を図るため、支団としても年 2 回のゴルフ・年 1 回のボーリング大会を行っています。



第2分団 研修旅行 平成 18 年 2 月 15・16 日

浜松航空基地 愛知県 伊良湖 鳥羽 伊勢神宮
(フェリー)

長時間のバスの移動でしたが、車中も楽しく、行ってまいりました。
伊勢の手ごね寿司 おいしいですよ！！ S・K

第1分団 研修旅行 平成 18 年 6 月 11・12 日

宮城県仙台・青葉城 秋保大滝 松島

長時間のバスの移動でまさに動く宴会場！幹事、会計が組となり、見学場所、食事、時間ふりなど決め事が沢山あり大変だが・・・

・・・それもまた楽しい！！

あっ！と言う間の 1 泊 2 日の旅でした。

K・O



安行地区において、平成 18 年 4 月 22 日（土）

中山団長の埼玉県消防協会会長就任及び消防長官「功労章」受賞記念祝賀会を開催

団本部 副団長 金子 利夫

中山謙二郎川口市消防団長が 4 月 1 日付で、埼玉県消防協会会長に就任されました事は、私共、川口市消防団員にとって誉れであり大変光栄な事と存じます。中山団長は川口消防団において、さまざまな改革をされ、消防団員の防災意識の高揚と消防力の強化を図ってこられました。その一つとして定年制の導入、女性消防団員の採用、消防団広報紙「団ネット」の発行、応援協定を結ぶ近隣消防と職・団員合同の演習、更には点検時における団員自らによるナレーションや国家、団歌の斉唱などさまざまな改革を行い、団員の活性化、そしてやる気を喚起しておるところであります。常に団長の防災活動における研究心と情熱には大変驚かされます。今後はその持てる力を川口市消防団長としてはもとより、県協会会長として存分に発揮して頂き県民のため、そして県消防のため、多いに活躍をして頂きたいと思えます。

*主催 第8支団 協賛 安行地区連合町会、消防団OB方々もご出席のもと、盛大に祝賀会を行いました。

次回は、11月に発行予定です。お楽しみに！

たたら祭り警戒、総合防災訓練、女性消防団員活性化大会など盛りだくさん。

編集委員が新しくなりました。

1 支団 井口直也 2 支団 深尾元計 3 支団 増子正美 4 支団 青木敏幸 5 支団 鈴木政信
6 支団 川田理雄 7 支団 加藤和夫 8 支団 白澤照子 9 支団 蓮見久治 です。